20210423_alg.md 2021/4/30

2021/04/23

満点:20点 / 目標:12点

(1) $x^2 - y^2 = 63$ を満たす自然数 x, y の組を全て求めよ.

(2) $x^3 - y^3 = 63$ を満たす自然数 x, y の組を全て求めよ.

20210423 alg.md 2021/4/30

解答・解説 (2021/04/30)

方程式の整数解の問題です. 整数の問題は本気を出せば限りなく難しくできるのですが, 実際の入試にはこの くらいが出てきやすそうですね.

整数問題の取り組み方

前提として, この手の整数問題は**しらみつぶしに調べれば解ける**という性質があります. たとえば (1) は,

$$(x+y)(x-y) = 63$$

と因数分解できますが、 絞り込まずに進めると (x+y, x-y) の組は 12 組あることがわかります.

$$(x+y, x-y) = (1, 63), (3, 21), (7, 9), (9, 7), (21, 3), (63, 1),$$

 $(-1, -63), (-3, -21), (-7, -9), (-9, -7), (-21, -3), (-63, -1)$

12 回連立方程式を解いて, x と y がどちらも自然数になっている組を見つけられれば, それで問題ありません。場合によっては、絞り込みの方法を見つけるより早く解けるかもしれません。

絞り込みの手法

絞り込みの方法はたくさんあるのですが、この問題で最低限覚えておきたいのは以下の3つです.

• 文字の範囲に着目して, **正負**を調べる

$$x>0$$
, $y>0$ だから, $x+y>0$ である. $(x+y)(x-y)>0$ だから, $x-y>0$ である.

• 2つの数の差をとって, **大小関係**を調べる

$$y$$
 は自然数で, $(x+y)-(x-y)=2y>0$ だから, $x+y>x-y$ である.

• 2つの数の和や差をとって、**偶奇**を調べる

$$x$$
 は整数で, $(x+y)+(x-y)=2x$ だから, $x+y$ と $x-y$ を足すと偶数になる.

これらの手法を使って絞り込むと, (1) は3通り調べればよいことになります.

$$(x+y, x-y) = (9, 7), (21, 3), (63, 1)$$

解答例ではある程度絞り込んで処理しました.

4/23 \$57025

- (1) ス²-月²=63 F¹ (ス+月)(ス-月)=63 ~①

 ニ=で、ス>0、月>0 F¹| ス+月>0

 (ス+月)(ス-月)>0 きがら ス-月>0 F¹|

 ス+月>ス-月 であることがら、
 のき 薄に可 (ス+月、ス-月)の 紅は (ス+月、ス-月)=(9.7).(21.3).(63.1)

 それぞれの工場合で ス.月をずめて、
 (ス.月)=(8.1).(12.9).(32.31)

 $(x^{2}+x\beta+\beta^{2})-(x-\beta)$ = $x^{2}+(\beta-1)x+\beta^{2}+\beta$ = $(x+\frac{\beta-1}{2})^{2}-(\frac{\beta-1}{2})^{2}+\beta^{2}+\beta$ = $(x+\frac{\beta-1}{2})^{2}+\frac{3}{4}(\beta+1)^{2}-1 \ge -1$ まて ② を添する $(x-\beta,x^{2}+x\beta+\beta^{2})=(1.63).(3.21).(7.9)$ それをよのまるだ。 $x.\beta$ をごうす ⑤世務をあるのる $(x-\beta,x^{2}+x\beta+\beta^{2})=(3.21)$ のときの $(x,\beta)=(4.1)$ のみである.